

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 24 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	宮田大輔
研究課題	離散アルゴリズムの応用的研究				
研究キーワード	アルゴリズム, 数え上げ, 木	当年度計画に対する 達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2021 年度は, 均等 2 彩色可能の木の数え上げに関して研究したが, 残念ながら既に知られている結果もしくはは自明な結果しか得られなかった。そのため, 新しい結果を発表するには至らなかった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等 (査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載) 【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オンデマンド授業における LMS 履歴を利用した学習行動分析, 情報処理学会第 84 回全国大会, 2022 年 3 月</li> <li>● N-竜王問題の解の個数について, 国際 ICT 利用研究学会第 11 回研究会, 2022 年 3 月</li> </ul> <p>3. 主な経費</p> <p>主として, 研究に必要な書籍の購入にあてた。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基盤研究 (C): 令和 2 年度～令和 4 年度, 分担, 課題名「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」(20K03102)</li> </ul>					
(本文は 2 ページ以内にまとめること)					